

前回環境企画部会（平成 30 年 1 月 30 日）での主な発言

【計画の進め方において参考とする意見】

- SDGs の考え方をどう反映させるかがポイントになる。環境と経済、社会のつながりの視点が重要であり、今までと違う連携が重要となってくる。新たな政策との連携では、総合的な関わりの中での進め方がこれまでと違ってくる。
- 環境総合計画では、いろんな分野別計画での取組を県民に全体が分かる様に示すことや、計画間の調整を行うことなどが主眼かもしれない。
- 環境総合計画で SDGs に取り組むことはチャレンジングである。全部局と話しながら現実を変えていけるものにしてほしい。
- 川の中のゴミ拾いを地域で行おうとしても、市も県もどこも救ってもらえない状況がある。こういった地域活動の後押しをしてほしい。SDGs を踏まえるとどういったイメージで考えてもらえるのか。
あらゆる主体の参画で取組を進めるのであれば、思い立った人がやり易いようにすることが大事と思う。やろうをサポートすることを取り上げてほしい。

【将来像の位置付けで参考とする意見】

- 資料 3 の 2 頁目で記述された方向性は違っていると思う。環境総合計画で提示するのは、分野別計画に共有させるべき将来像であり、分野別計画の将来像と共有しなければならぬというのは本当か疑わしい。
- 連携する立場が大事になる。共通目標を示し、横つなぎを進めることが必要。